

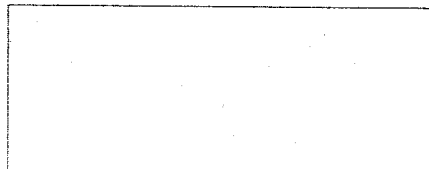
中医協 検-2  
21.7.8

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査  
(平成21年度調査)  
調査票(案)

- 7:1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（医療機関における医療機能の分化・連携に与えた影響調査）
  - 施設調査票（病院）..... 1頁
  - 病棟調査票（一般病棟用）..... 10頁
  - 病棟患者調査票（一般病棟用）..... 14頁
  - 病棟調査票（亜急性期病室用）..... 19頁
  - 病棟患者調査票（亜急性期病室用（入院中））..... 23頁
  - 病棟患者調査票（亜急性期病室用（退院））..... 26頁
  - 施設調査票（診療所）..... 30頁
- 回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された「質の評価」の効果の実態調査
  - 施設調査票..... 34頁
  - 病棟調査票..... 43頁
  - 退棟患者調査票..... 50頁

- ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における禁煙成功率の実態調査
  - 施設調査票..... 52頁
  - 患者調査票..... 54頁

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成21年度調査）  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）



- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月〇日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「〇」（ゼロ）をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病棟（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指します。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成21年( )月( )日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

■貴病院の概要についてお伺いします。

問1 貴病院の開設者として該当するものをお選びください。(〇は1つ)

01 国（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他）
02 公的医療機関（都道府県、市町村、一部事務組合、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
03 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、健康保険協会、共済組合、国民健康保険組合等）
04 医療法人
05 個人
06 その他（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他法人）

問2 貴病院の承認等の状況について該当するもの全てをお選びください。(〇はいくつでも)

01 高度救命救急センター	08 特定機能病院
02 救命救急センター	09 地域医療支援病院
03 二次救急医療機関	10 DPC対象病院
04 災害拠点病院	11 DPC準備病院
05 総合周産期母子医療センター	12 がん診療連携拠点病院
06 地域周産期母子医療センター	13 専門病院 <sup>注1</sup>
07 小児救急医療拠点病院	

注1) 専門病院とは、主として難症難症、重篤難症等の患者を入院させる医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方社会保険事務局長に届け出たものを指す。

問3 貴病院における下記の診療報酬に係る届出状況について、届出をされているものとして該当するものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

01 入院時医学管理加算	10 医師事務作業補助体制加算 75対1補助体制加算
02 臨床研修病院入院診療加算1（単独型・管理型）	11 医師事務作業補助体制加算 100対1補助体制加算
03 臨床研修病院入院診療加算2（協働型）	12 緩和ケア診療加算
04 救急医療管理加算	13 医療安全対策加算
05 乳幼児救急医療管理加算	14 褥瘡患者管理加算
06 亜急性期脳卒中加算	15 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
07 診療管理体制加算	16 通院調整加算
08 医師事務作業補助体制加算 25対1補助体制加算	17 後期高齢者退院調整加算
09 医師事務作業補助体制加算 50対1補助体制加算	

問4 貴病院における平成21年6月時点の下記の診療報酬に係る届出の状況について、届出を行っているものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

平成21年6月	
届出の状況 (〇はいくつでも)	01 一般病棟 7対1入院基本料（即7対1）
	02 一般病棟 10対1入院基本料
	03 回復期リハビリテーション病棟入院料1
	04 回復期リハビリテーション病棟入院料2
	05 亜急性期入院医療管理料1
	06 亜急性期入院医療管理料2

問5 貴病院の平成21年6月1日時点の届出病床数についてご記入ください。

平成21年6月1日	
(1) 届出病床数 総数	届出状況 病床数
(2) 一般病床	床
(3) [再掲] 一般病棟入院基本料のみ算定する病床	床
(4) [再掲] 救命救急入院料	有・無 床
(5) [再掲] 特定集中治療室管理料	有・無 床
(6) [再掲] ベッドユニット入院医療管理料	有・無 床
(7) [再掲] 脳卒中ユニット入院医療管理料	有・無 床
(8) [再掲] 新生児特定集中治療室管理料	有・無 床
(9) [再掲] 総合周産期特定集中治療室管理料	有・無 床
(10) [再掲] 小児入院医療管理料1	有・無 床
(11) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料	床
(12) [再掲] 亜急性期入院医療管理料	床
(13) 療養病床（医療保険適用）	有・無 床
(14) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料	有・無 床
(15) 療養病床（介護保険適用）	有・無 床
(16) 精神病床	有・無 床
(17) その他（感染症病床・結核病床等）	有・無 床

問6 貴病院の外來患者数、入院患者数、全身麻酔手術件数、他の医療機関からの患者紹介比率について、平成20年6月及び平成21年6月の総数を記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 外來患者数	人	人
(2) 入院患者数	人	人
(3) 全身麻酔（静麻静酔は除く）手術件数	件	件
(4) 他の医療機関からの患者紹介比率 <sup>注1</sup>	%	%

注1) 患者紹介比率は、小数点第二位を切り捨て小数点第一位までを記入。

問7 貴病院の平成21年6月1日時点で雇用している職員数をご記入ください。

	平成21年6月1日	
	常勤	非常勤（常勤換算 <sup>注1</sup> ）
(1) 看護師	人	人
(2) [再掲] 一般病棟 <sup>注2</sup> における看護師	人	人
(3) 准看護師	人	人
(4) [再掲] 一般病棟 <sup>注2</sup> における准看護師	人	人
(5) 看護補助者	人	人
(6) [再掲] 一般病棟 <sup>注2</sup> における看護補助者	人	人
(7) 医師	人	人
(8) 薬剤師	人	人
(9) 理学療法士	人	人
(10) 作業療法士	人	人
(11) 言語聴覚士	人	人
(12) 診療放射線技師	人	人
(13) 臨床検査技師	人	人
(14) 臨床工学技士	人	人
(15) ショーシャルワーカー	人	人
(16) 事務職員	人	人

注1) 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指す。  
注2) 非常勤職員の常勤換算の算出方法  
貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを記入。  
例 1週間の通常勤務時間が4.0時間の病院で、毎日4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合  
非常勤看護師数 = 4日 × 5時間 × 1人 = 20人  
4.0時間 = 0.5人

問8 貴病院は、大腸骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の届出をされていますか。該当する選択肢番号に〇をお付けください。

(1) 地域連携診療計画管理料 (〇は1つ)	01 届出なし	02 届出あり
(2) 地域連携診療計画退院時指導料 (〇は1つ)	01 届出なし	02 届出あり

問8において、地域連携診療計画管理料あるいは地域連携診療計画退院時指導料のいずれかについて「01 届出あり」と回答された場合には、以下の問9～12にもご回答ください。いずれかについても「02 届出なし」と回答された場合には、問13へお進みください。

問9 貴病院が大脳脊髄部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料及び地域連携診療計画退院時指導料の届出の際に記載した計画管理病院、連携医療機関の施設数をご記入ください。

		平成21年
大脳脊髄部骨折	(1) 計画管理病院	施設
	(2) [再掲] 7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(3) [再掲] 10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(4) [再掲] 13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(5) [再掲] 15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(6) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院	施設
	(7) 病院	施設
	(8) [再掲] 7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(9) [再掲] 10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(10) [再掲] 13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(11) [再掲] 15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(12) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院	施設
	(13) [再掲] 回復期リハビリ病棟入院料届出施設	施設
	(14) [再掲] 至急性期入院医療管理料届出施設	施設
	(15) 有床診療所	施設
脳卒中	(16) 計画管理病院	施設
	(17) [再掲] 7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(18) [再掲] 10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(19) [再掲] 13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(20) [再掲] 15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(21) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院	施設
	(22) 病院	施設
	(23) [再掲] 7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(24) [再掲] 10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(25) [再掲] 13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(26) [再掲] 15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	施設
	(27) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院	施設
	(28) [再掲] 回復期リハビリ病棟入院料届出施設	施設
	(29) [再掲] 至急性期入院医療管理料届出施設	施設
	(30) 有床診療所	施設

問10 貴病院における平成20年度の大脳脊髄部骨折及び脳卒中の地域連携診療計画に係る情報交換のための連携医療機関との会合について、開催状況をご記入ください。

	平成20年度
(1) 大脳脊髄部骨折に係る連携医療機関との会合の開催回数	回
(2) 脳卒中に係る連携医療機関との会合の開催回数	回

問14 貴病院の医療機能に係る今後の方針について該当するものをお選びください。

(1) 貴病院では特定の医療機能(急性期医療機能や療養機能など)への特化を予定されていますか。(〇は1つ)	01 特化する予定である	02 特化する予定はない	
(2) [(1)で「01 特化する予定である」場合のみ] 今後、特化する予定の医療機能はどちらですか。(〇は1つ)	01 急性期医療機能	02 回復期リハビリ機能	03 療養機能
(3) [(1)で「01 特化する予定である」場合のみ] 今後、至急性期医療機能を保持、拡充する予定はありますか。(〇は1つ)	01 保持、拡充する予定がある	02 保持、拡充する予定はない	
(4) (1)の方針の理由についてご記入ください。 【自由回答】			

問15 貴病院の連携に係る今後の方針について該当するものをお選びください。

(1) 貴病院では他の医療機関との連携についてどのような方針をお持ちですか。(〇は1つ)	01 他に他の医療機関と連携するつもりはない	02 同一法人内の他の医療機関と連携をとる	03 同一法人か否かは問わず、地域の他の医療機関と連携をとる	
(2) 貴病院では連携する医療機関数についてどのような方針をお持ちですか。(〇は1つ)	01 増やしたい	02 減らしたい	03 現状のままでよい	
(3) [(2)で「01 増やしたい」場合のみ] 今後の連携先として増やしたい医療機能はどちらですか。また、その医療機能を持つ医療機関は地域に十分にありますが、(〇はいくつでも)	01 急性期医療機能	02 至急性期医療機能	03 回復期リハビリ機能	04 療養機能
	01 地域に十分にある	02 地域に十分にある	03 地域に十分にある	04 地域に十分にある
	02 地域に十分でない	03 地域に十分でない	04 地域に十分でない	05 地域に十分でない
	03 地域に全くない	04 地域に全くない	05 地域に全くない	06 地域に全くない
	04 不明	05 不明	06 不明	07 不明
(4) (1)及び(3)の方針の理由についてご記入ください。 【自由回答】				

最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

記入漏れがないかをご確認の上、〇月〇日(〇)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。
設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。

問11 貴病院における大脳脊髄部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者について、平成20年度の算定患者数をご記入ください。

		平成19年度	平成20年度
大脳脊髄部骨折	(1) 大脳脊髄部骨折による入院患者数	人	人
	(2) [再掲] 地域連携診療計画管理料を算定した患者数	人	人
	(3) [再掲] 設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数	人	人
	(4) [再掲] 連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数	人	人
	(5) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者数	人	人
	(6) [再掲] 設定した入院期間内に退院・転院できた患者数	人	人
脳卒中	(7) 脳卒中による入院患者数	人	人
	(8) [再掲] 地域連携診療計画管理料を算定した患者数	人	人
	(9) [再掲] 設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数	人	人
	(10) [再掲] 連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数	人	人
	(11) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者数	人	人
	(12) [再掲] 設定した入院期間内に退院・転院できた患者数	人	人

問12 貴病院における大脳脊髄部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者について、平成19年度及び平成20年度の平均在院日数をご記入ください。

		平成19年度	平成20年度
大脳脊髄部骨折	(1) 大脳脊髄部骨折による入院患者の平均在院日数	日	日
	(2) [再掲] 地域連携診療計画管理料算定患者の平均在院日数	日	日
	(3) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料算定患者の平均在院日数	日	日
脳卒中	(4) 脳卒中による入院患者の平均在院日数	日	日
	(5) [再掲] 地域連携診療計画管理料算定患者の平均在院日数	日	日
	(6) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料算定患者の平均在院日数	日	日

注) 平均在院日数は、小数点第二位を切り捨て小数点第一位までを記入。

問13 貴病院には、退院調整に関する部門はございますか。該当する選択肢番号に〇をお付けください。(〇は1つ)

なお、部門がある場合は、当該部門にて退院調整業務を専従、専任で行っている職員に区分し、平成21年6月1日時点で雇用しているそれぞれの実人員数をご記入ください。

退院調整に関する部門の設置状況	設置状況(「01 有」の場合、部門の職種別実人員数)		
	専従 <sup>注1)</sup>	専任 <sup>注2)</sup>	
01 無			
02 有			
	01 医師	人	人
	02 看護師	人	人
	03 社会福祉士・MSW	人	人
	04 事務職員	人	人
	05 その他	人	人

注1) 専従とは、当該部門の業務のみに従事している者をいう。  
注2) 専任とは、当該部門での業務とその他の部署等での業務を兼務している者をいう(例: 午前3時間は当該部門の退院調整に関する業務に従事するが、午後の5時間は病棟での診療業務に従事する等)。

施設票(看護部長用)

平成20年度診療報酬改定結果検証に係る調査  
医療機関における医療機能の分化・連携に与えた影響調査(案)

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」(ゼロ)をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)」を指します。なお、一般病棟と結核病棟を併せて1看護単位として7対1入院基本料の届出をしている場合には、結核病棟における護も含んでお答え下さい。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成21年( )月( )日
ご記入担当者	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

■貴病院の一般病棟についてお伺いします。

問1 貴病院で「一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)」(以下、「一般病棟」という)についてお伺いいたします。平成20年6月及び平成21年6月における一般病棟の入院患者数及び転院・転院・退院患者数、平均在院日数、病床利用率をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 入院患者数 <sup>注1)</sup>	人	人
(2) 転院・転院・退院患者数 <sup>注2)</sup>	人	人
(3) 平均在院日数(平成20年4~6月及び平成21年4~6月の3ヶ月の平均)	日	日
(4) 病床利用率(平成20年4~6月及び平成21年4~6月の3ヶ月の平均)	%	%

注1) 入院患者数: 新規入院患者数(転院含む)あるいは新規転院患者数  
注2) 転院・転院・退院患者数: 以下の「転院」、「転院」、「退院」の用語の定義に該当する患者数の合計  
転院: 現在算定している入院基本料とは異なる病棟に移動した場合のみを指す(例: 一般病棟入院基本料から回復期リハビリテーション科入院料へ移動した場合は1とするが、一般病棟入院基本料内での移動については0とする)  
転院: 別の医療機関に移動した人数  
退院: 自宅又は医療機関ではない施設に移動した人数

問2 貴病院の平成21年6月における一般病棟の入院患者数について、院内他病棟からの転院と院外からの入院(転院含む)を区別してご記入ください。また、一般病棟の退院患者数について、院内他病棟への転院と院外への退院(転院含む)を区別してご記入ください。

平成21年6月	入院患者数へ数				転院・転院・退院患者数へ数			
	院内の一般病棟以外の病床から	院外から転院	他病棟から転院	自宅から	院内の一般病棟以外の病床へ	院外へ	他病棟へ	自宅へ
一般病棟	人	人	人	人	人	人	人	人

一般病棟入院基本料で7対1入院基本料を算定している医療機関、あるいはその他の入院基本料を算定している医療機関で「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る調査票」により評価を行っている医療機関は、以下の問3~5にもご回答ください。

上記以外の医療機関については、次頁の最後の自由回答の設問へお読みください。

問3 貴病院の一般病棟における重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 (②/①) %	%	%

注1) 重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の算出方法  
 貴病院における下記の①、②の数値から、②/①により割合を算出し、小数点第二位以下切り捨てて小数点第一位までを記入。  
 ① 入院患者延べ数  
 入院患者延べ数とは、算出期間中に一般病棟入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含まない。  
 ② ①のうち重要度・看護必要度の基準を満たす患者の延べ数  
 「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、Aモニタリング及び処置等に係る得点が「2点以上」かつ、B患者の状況等に係る得点が「3点以上」である患者をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含まない。

問4 貴病院の一般病棟において、「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行った患者のAモニタリング及び処置等に係る得点、B患者の状況等に係る得点について、平成20年6月及び平成21年6月の平均値、各得点ごとの入院患者延べ数をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月	
(1) 一般病棟におけるAモニタリング及び処置等に係る得点の平均値 <sup>※1</sup>	点	点	
(2) 一般病棟におけるB患者の状況等に係る得点の平均値 <sup>※1</sup>	点	点	
(3) 平成20年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 <sup>※2</sup>	B患者の状況等に係る得点		
A Aモニタリング及び処置等に係る得点	0～1点	人	人
	2点	人	人
	3点	人	人
	4点	人	人
	5～7点	人	人
	8～10点	人	人
B B患者の状況等に係る得点	0～2点	人	人
	3点	人	人
	4点	人	人
	5点	人	人
	6～8点	人	人
	9～12点	人	人
(4) 平成21年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 <sup>※2</sup>	B患者の状況等に係る得点		
A Aモニタリング及び処置等に係る得点	0～1点	人	人
	2点	人	人
	3点	人	人
	4点	人	人
	5～7点	人	人
	8～10点	人	人
B B患者の状況等に係る得点	0～2点	人	人
	3点	人	人
	4点	人	人
	5点	人	人
	6～8点	人	人
	9～12点	人	人

注1) 平均値は、小数点第三位を四捨五入して小数点第二位まで算出する。  
 注2) 入院患者延べ数とは、算出期間中に7対1入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、患者数は産科及び小児科の患者数は含まない。

問5 貴病院の平成21年6月1日時点の一般病棟入院基本料を算定している病床を有する病棟数についてご記入ください。

一般病棟入院基本料を算定している病床を有する病棟数	平成21年6月1日	病棟
---------------------------	-----------	----

問6 貴病院における一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)を有する個別の病棟について病棟別の患者状態の違いを伺いたします。個別の病棟毎(産科及び小児科病棟を除く)に平成21年6月の一般病棟における重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合<sup>※1</sup>を算出し、割合が最も高い病棟から3ヶ所と最も低い病棟から3ヶ所について、病棟名と平成21年6月の重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合をご記入ください。

(1) 割合の高い病棟から3ヶ所	順位	コード	病棟名 例：4階東病棟、4W病棟等	重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 <sup>※1</sup> (②/①) 平成21年6月
	1	A1		%
	2	A2		%
(2) 割合の低い病棟から3ヶ所	1	B1		%
	2	B2		%
	3	B3		%

注1) 重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の算出方法  
 各病棟における下記の①、②の数値から、②/①により割合を算出し、小数点第二位以下切り捨てて小数点第一位までを記入。  
 ① 入院患者延べ数  
 入院患者延べ数とは、算出期間中に一般病棟入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含まない。  
 ② ①のうち重要度・看護必要度の基準を満たす患者の延べ数  
 「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、Aモニタリング及び処置等に係る得点が「2点以上」かつ、B患者の状況等に係る得点が「3点以上」である患者をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含まない。  
 注2) 貴病院の個別の病棟数が5ヶ所以下の場合は、「割合の低い病棟上位3ヶ所の3位」を空欄とし、全ての病棟についてご記入ください。

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。  
 なお、同封いたしました「病棟票(一般病棟用)」につきましては、問6でご記入いただいたA1～A3、B1～B3の各病棟へ配布していただき、各病棟の看護部長に記載をご依頼いただきたく存じます。

お手数をおかけし、誠に恐縮ではございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

**病棟票 (一般病棟用)**

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成21年度調査)  
 7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査 (案)

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」(ゼロ)をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)」を指します。

一般病棟名 AO

■本調査票の一般病棟名・ご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日 平成21年( )月( )日  
 ご記入担当者名

■貴病棟の概要についてお伺いします。

問1 貴病棟の診療科目について該当する主なものを3つ以内でお選びください。01～36に定める診療科目以外を標榜している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。(〇は3つまで)

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 小児科
03 消化器科(胃腸科)	12 外科	21 産科	30 小児科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 産科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児産科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

問2 貴病棟で算定している診療報酬として該当するものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

貴病棟で算定している診療報酬	01 一般病棟7対1入院基本料(7対1)
	02 一般病棟10対1入院基本料
	03 亜急性期入院医療管理料1
	04 亜急性期入院医療管理料2

問3 貴病棟の届出病床数について、平成21年6月1日時点の総数と内訳をご記入ください。

	平成21年6月
(1) 届出病床数 総数	床
(2) 一般病床	床
(3) 【再掲】亜急性期入院医療管理料が算定可能な病床	床
(4) 【再掲】(3)以外で特定入院料が算定可能な病床	床

以下の設問では、貴病棟の「一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)」に限ってご回答ください。

問4 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)に入院している患者について、平成21年6月1日0時の時点で入院している人数をご記入ください。

	平成21年6月1日
入院患者数	人

問5 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)において、平成21年6月1日時点の時点で雇用している看護師、准看護師、看護補助者の人数をご記入ください。

	平成21年6月1日	
	常勤	非常勤(常勤換算 <sup>※1</sup> )
(1) 看護師	人	人
(2) 准看護師	人	人
(3) 看護補助者	人	人

注1) 非常勤職員(非常勤換算)の算出方法  
 貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように非常勤換算して小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを記入。  
 例：1週間の通常勤務時間が40時間の病院で、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合  
 $非常勤看護師数 = \frac{4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 0.5人$

問6 一般病棟入院基本料を算定している病床を含む貴病棟全体において、平成21年6月1日時点の専従・専任している職種別の職員数について、一週当たりの勤務状況から算出した常勤換算後の人数をご記入ください。

	平成21年6月1日	平成21年6月1日	
(1) 医師	人	(6) 診療放射線技師	人
(2) 薬剤師	人	(7) 臨床検査技師	人
(3) 理学療法士	人	(8) 臨床工学技士	人
(4) 作業療法士	人	(9) ソーシャルワーカー	人
(5) 登録栄養士	人	(10) 事務職員	人

注2) 専従とは、貴病棟の業務のみに従事している者をいう。専任とは、貴病棟での業務とその他の部署での業務を兼業している者をいう(例：午前3時間は貴病棟の業務に従事するが、午後の5時間は別の部署で従事する者を指す)。  
 注3) 専任・専任している職員の非常勤換算の算出方法  
 貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように非常勤換算して小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを記入。  
 例：1週間の通常勤務時間が40時間の病院で、貴病棟に専任の薬剤師が1人、週4日(各日1時間)勤務の専任の薬剤師が1人いる場合  
 $専任薬剤師数 = \frac{5日 \times 8時間 \times 1人 + 4日 \times 1時間 \times 1人}{40時間} = 1.1人$

問7 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)における入院患者数、転棟・転院・退院患者数、平均在院日数、病床利用率について、平成20年6月及び平成21年6月の数値をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 入院患者数 <sup>※1</sup>	人	人
(2) 転棟・転院・退院患者数 <sup>※2</sup>	人	人
(3) 平均在院日数(平成20年4～6月及び平成21年4～6月の3ヶ月の平均)	日	日
(4) 病床利用率(平成20年4～6月及び平成21年4～6月の3ヶ月の平均)	%	%

注1) 入院患者数：新規入院患者数(転院含む)あるいは新規転院患者数  
 注2) 転棟・転院・退院患者数：以下の「転棟」、「転院」、「退院」の用語の定義に該当する患者数の合計  
 ○転棟：別の病棟に移動した人数  
 ○転院：別の医療機関に移動した人数  
 ○退院：自宅又は医療機関ではない施設に移動した人数

問8 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院科、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における入院患者について、平成21年6月の入院前の居場所別の人数をご記入ください。

		平成21年6月	
(1) 自院の急性期病床*		人	
(2) 自院のその他の病床		人	
(3) 他病院	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(4) 有床診療所	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(5) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(6) その他居住系サービス**等の施設	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(7) 在宅		人	
(8) その他		人	

注1 急性期病床とは、救命救急入院科、特定集中治療室管理科、ハイケアユニット入院医療管理科、脳卒中ケアユニット入院医療管理科、新生児特定集中治療室管理科、総合周産期特定集中治療室に係る産出病床を指す。  
注2 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問9 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院科、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合について、院内他の病棟と比較した病棟の状況として該当するものをお選びください。

		平成21年6月	
(1) 自院の回復期リハビリ*		人	
(2) 自院の急性期病床		人	
(3) 自院の(1)～(2)以外の一般病棟		人	
(4) 自院の(1)以外の療養病棟		人	
(5) 自院の(1)～(4)以外の病棟		人	
(6) 他病院	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(7) 有床診療所	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(8) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(9) その他居住系サービス**等の施設	同一二次医療圏	人	
	県内他二次医療圏	人	
	県外	人	
(10) 在宅		人	
(11) その他		人	

注1 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問10 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院科、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）において、「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」を用いて評価を行った患者のAモニタリング及び処置等に係る得点、B患者の状況等に係る得点について、平成20年6月及び平成21年6月の平均値、各得点ごとの入院患者延べ数をご記入ください。

		平成20年6月		平成21年6月	
(1) 一般病棟におけるAモニタリング及び処置等に係る得点の平均値*		点		点	
(2) 一般病棟におけるB患者の状況等に係る得点の平均値*		点		点	
(3) 平成20年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」の各得点ごとの入院患者延べ数**					
		B患者の状況等に係る得点			
重症に係る得点	0～1点	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人

(4) 平成21年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」の各得点ごとの入院患者延べ数\*\*

		B患者の状況等に係る得点				
重症に係る得点	0～1点	人	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人	人

注1 平均値は、小数点第三位を四捨五入して小数点第二位まで算出する。  
注2 入院患者延べ数は、算出期間中に7対1入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、患者数に産科及び小児科の患者数は含まない。

問11 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院科、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合について、院内他の病棟と比較した病棟の状況として該当するものをお選びください。

(1) 貴病棟における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の院内他病棟との比較 (〇は1つ)	01 割合が高い傾向にある			02 割合が低い傾向にある			03 どちらともいえない		
(2) (1)の理由として該当するものを全てお選びください。(〇はいくつでも)	01 手術が多い(少ない)			03 検査が多い(少ない)			05 高齢者が多い(少ない)		
	02 処置が多い(少ない)			04 転科・転棟が多い(少ない)			06 入院が多い(少ない)		
	[(1)の理由を具体的に記入ください]								

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。  
記入漏れがないかを確認の上、〇月〇日(〇)までに、同封の返信用封筒に入れてご返函下さい。

病棟患者票（一般病棟用）

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成21年度調査）  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院医療管理料に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）

一般病棟名

〇 上記の病棟を平成21年6月1日に退棟された患者から4名を選び、下記設問についてご回答下さい。  
〇 なお、平成21年6月1日に退棟された患者が4名に満たない場合は、同年6月2日の退棟患者から、それでも不足する場合には順に3日、4日と対象日を進め、順次、退棟された患者を追加ください。  
〇 本調査票は、質問票と回答用紙が分かれており、質問票をご記入になりながら、回答用紙の各患者欄に、当該患者の各設問における選択番号等をご記入下さい。

■ 質問票

A 患者の基本的事項

1	発症年月日	西暦 年 月 日
2	入院年月日	西暦 年 月 日
3	入院期間中に診断された主病名と副病名	別紙2「疾病コード表」より該当番号を選択 ①主病名(1つ) _____ ②副病名(2つまで) _____
4	診療科(1つ選択)	別紙1「診療科コード表」より該当番号を選択
5	性別	1 男性 2 女性 6 年齢 (6月1日現在) 歳
7	①世帯構成	1 単独世帯 2 同居有り世帯
	②キーパーソン	1 有り 2 無し
7	③続柄(②有りの場合)	1 配偶者 4 父または配偶者の父 7 兄弟姉妹 2 子 5 孫 8 他の親族 3 子の配偶者 6 祖父 9 その他
	8	入院期間中の算定状況
9	院内クリティカルパスの使用状況	1 有り 2 無し ⑦パリアンスの状況 1 有り 2 無し
10	リハビリテーションの実施状況	1 有り 2 無し ①リハビリの種別(複数選択可) 1 心大血管疾患 4 呼吸器 2 脳血管疾患等 5 複合機能療法 3 運動器 6 集団リハビリ ②リハビリ開始日 西暦 年 月 日 ③リハビリ頻度 週 単位
11	透析の実施状況	1 有り 2 無し ①透析開始日 西暦 年 月 日 ②透析の方法 1 血液透析 2 腹膜透析

B 入院時の患者状況

1	入院前の居場所(1つ選択)	1 在宅 9 06～08以外の他院の他の病棟 2 自院の回復期リハビリ病棟 10 介護老人保健施設(老人保健施設) 3 02以外の自院の一般病棟 11 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4 02以外の自院の療養病棟 12 グループホーム 5 02～04以外の自院の他の病棟 13 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス) 6 他院の回復期リハビリ病棟 14 高齢者専用賃貸住宅 7 06以外の他院の一般病棟 15 障害者支援施設 8 06以外の他院の療養病棟 16 その他
2	入院した背景(1つ選択)	1 疾病の(急性)発症(疑いを含む)のため 2 疾病の(急性)増悪のため 3 疾病の急性期状態が安定したため 4 継続的な高度の医療管理が必要のため 5 継続的なリハビリが必要のため 6 在宅でも対応できるが家族等の受け入れ体制が合わないため 7 介護保険施設等でも対応できるが空きがないため 8 本人・家族が希望するため 9 その他(自由記入欄)
3	入院した理由(複数選択可)	1 検査が必要のため 4 放射線治療が必要のため 2 点滴治療等が必要のため 5 手術が必要のため 3 抗がん剤投与が必要のため 6 その他(自由記入欄)
4	入院日の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」における「Aモニタリング及び処置等」の得点	①創傷処置 点 ⑨ 専門的な治療・処置 点 ② 血圧測定 点 ⑩ 抗悪性腫瘍剤の使用 1有 2無 ③ 時間差測定 点 ⑪ 専属性村薬の使用 1有 2無 ④ 呼吸ケア 点 ⑫ 放射線治療 1有 2無 ⑤ 点滴ライン同時3本以上 点 ⑬ 免疫抑制剤の使用 1有 2無 ⑥ 心電図モニター 点 ⑭ 月経剤の使用 1有 2無 ⑦ シリンジポンプの使用 点 ⑮ 抗不整脈剤の使用 1有 2無 ⑧ 輸血や血液製剤の使用 点 ⑯ レナジーの管理 1有 2無
5	入院日の「B患者の状況等」の得点	1) 寝たがり 点 5) 口腔清潔 点 2) 起き上がり 点 6) 食事摂取 点 3) 座位保持 点 7) 衣服の着脱 点 4) 移乗 点
6	入院時の患者のその他の状況等	①輸液ポンプの使用 1有 2無 ⑧人工呼吸器の装着 1有 2無 ②動脈圧測定(動脈ライン) 1有 2無 ⑨床上安静の指示 1有 2無 ③中心静脈圧測定(中心静脈ライン) 1有 2無

C 入院(入棟)中の患者状況

1	手術の実施	1 有り 2 無し ①全身麻酔(静脈麻酔除く) 1 有り 2 無し ②手術名 ③手術年月日 西暦 年 月 日
2	侵襲性の高い検査の実施	1 有り 2 無し ①主な検査(血管造影等) ②実施年月日 西暦 年 月 日
3	侵襲性の高い処置の実施	1 有り 2 無し ①主な処置(換気装置等) ②実施年月日 西暦 年 月 日

4	「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の合計点数が最高点*の時の状況				
1)	年月日	西暦	年	月	日
2) A モニタリング及び処置等	1) 創傷処置	点	9) 専門的な治療・処置	点	
	2) 血圧測定	点	⑩ 抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無	
	3) 時間尿測定	点	⑪ 麻薬性鎮痛剤の使用	1有 2無	
	4) 呼吸ケア	点	⑫ 放射線治療	1有 2無	
	5) 点滴ライン同時3本以上	点	⑬ 免疫抑制剤の使用	1有 2無	
	6) 心電図モニター	点	⑭ 昇圧剤の使用	1有 2無	
	7) シリンジポンプの使用	点	⑮ 抗不整脈剤の使用	1有 2無	
	8) 輸血や血液製剤の使用	点	⑯ ドレーナージの管理	1有 2無	
3) B 患者の状況等	1) 寝返り	点	5) 口腔清潔	点	
	2) 起き上がり	点	6) 食事摂取	点	
	3) 座位保持	点	7) 衣服の着脱	点	
	4) 移乗	点			

\*最高点の日が複数日あった場合には、最初に最高点となった日とする。

D 退院時の患者状況

1	退院年月日	西暦	2009年	6月	日		
2	退院支援計画書の策定	1 有り	2 無し				
3	退院後の居場所(1つ選択)	1 在宅	9 06~08以外の他院の病床				
		2 自院の回復期リハビリ病棟	10 介護老人保健施設(老人保健施設)				
		3 02以外の自院の一般病床	11 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)				
		4 02以外の自院の療養病床	12 グループホーム、有料老人ホーム等				
		5 02~04以外の自院の他の病床	13 高齢者専用賃貸住宅				
		6 他院の回復期リハビリ病棟	14 障害者支援施設				
		7 06以外の他院の一般病床	15 死亡				
		8 06以外の他院の療養病床	16 その他				
4	転 帰	1 枯絶	2 軽快	3 不変	4 悪化	5 死亡	6 その他
5	退院日の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」における「A.モニタリング及び処置等」の得点	1) 創傷処置	点	9) 専門的な治療・処置	点		
		2) 血圧測定	点	⑩ 抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無		
		3) 時間尿測定	点	⑪ 麻薬性鎮痛剤の使用	1有 2無		
		4) 呼吸ケア	点	⑫ 放射線治療	1有 2無		
		5) 点滴ライン同時3本以上	点	⑬ 免疫抑制剤の使用	1有 2無		
		6) 心電図モニター	点	⑭ 昇圧剤の使用	1有 2無		
		7) シリンジポンプの使用	点	⑮ 抗不整脈剤の使用	1有 2無		
		8) 輸血や血液製剤の使用	点	⑯ ドレーナージの管理	1有 2無		
6	退院日の「B.患者の状況等」の得点	1) 寝返り	点	5) 口腔清潔	点		
		2) 起き上がり	点	6) 食事摂取	点		
		3) 座位保持	点	7) 衣服の着脱	点		
		4) 移乗	点				
7	退院までの経緯(1つ選択)	1 入院診療計画書にある推定入院期間より早く退院					
		2 入院診療計画書にある推定入院期間どおりの退院					
		3 病状が安定せず、退院が延びた					
		4 入所・転院する施設の都合で、退院が延びた					
		5 退院先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退院が延びた					
		6 退院先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退院が延びた					
		7 その他(自由記入)					

<別紙1>診療科コード表

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こり門科
03 消化器科(胃腸科)	12 外科	21 産科	30 小児科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんご科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児病科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

注) 01~36に定める診療科目以外を標榜している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。

<別紙2>疾病コード表  
(ICD-10 2003年版を準用)

001 感染症及び寄生虫症	041 肥後及び腫瘍の腫毒	X II 皮膚及び皮下組織の疾患
002 細菌感染症	042 その他の腫瘍及び付随する疾患	085 皮膚及び皮下組織の感染症
003 結核	043 外耳炎	086 皮膚炎及び湿疹
004 主として性的伝播様式をとる感染症	044 その他の外耳炎	087 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
005 ウイルス肝炎	045 中耳炎	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患
006 その他のウイルス疾患	046 その他の中耳及び乳突炎の疾患	088 炎症性多発性関節炎
007 真菌症	047 メニエール病	089 関節炎
008 菌血症及び寄生虫症の続発・後遺症	048 その他の内耳疾患	090 骨髄障害(骨質性を含む)
009 その他の感染症及び寄生虫症	049 その他の耳疾患	091 椎間板障害
010 腎の悪性新生物	IX 循環器系の疾患	092 痛風症候群
011 結核の悪性新生物	050 高血圧性疾患	093 腰痛症及び坐骨神経痛
012 尿管S状結核移行期及び尿管の悪性新生物	051 虚血性心疾患	094 その他の骨髄障害
013 肝及び胆管の悪性新生物	052 その他の心疾患	095 肩の障害<損傷>
014 気管、気管支及び肺の悪性新生物	053 くも膜下出血	096 骨の密度及び構造の障害
015 乳房の悪性新生物	054 脳内出血	097 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
016 子宮の悪性新生物	055 脳梗塞	X IV 腎臓系疾患の疾患
017 悪性リンパ腫	056 脳動脈硬化(症)	098 糸球体疾患及び腎臓副腎実質性疾患
018 白血病	057 その他の脳血管疾患	099 腎不全
019 その他の悪性新生物	058 動脈硬化(症)	100 尿路結石症
020 良性新生物及びその他の新生物	059 痔瘻	101 その他の腎臓系疾患
	060 低血圧(症)	102 前立腺肥大(症)
	061 その他の循環器系の疾患	103 その他の男性生殖系の疾患
	X 呼吸器系の疾患	104 月経障害及び閉経周辺障害
021 貧血	062 急性鼻咽喉炎[カゼ] <感冒>	105 乳腺及びその他の女性生殖系疾患
022 その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	063 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	X V 妊娠、分娩及び産後
	064 その他の急性上気道感染症	106 深産
023 甲状腺障害	065 肺炎	107 妊娠高血圧症候群
024 糖尿病	066 急性気管支炎及び急性気管支炎	108 単胎自然分娩
025 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	067 アレルギー性鼻炎	109 その他の妊娠、分娩及び産後
026 精神及び行動の障害	068 慢性副鼻腔炎	X VI 産褥中に発生した病態
027 血管性及び詳細不明の認知症	069 急性又は慢性と明示されない気管支炎	110 妊娠及び胎児発育に関連する障害
028 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	070 慢性閉塞性肺疾患	111 その他の周産期に発生した病態
029 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	071 喘息	X VII 先天畸形、変形及び染色体異常
030 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	072 その他の呼吸器系の疾患	112 心臓の先天畸形
031 知覚障害(精神運動)	X I 消化器系の疾患	113 その他の先天畸形、変形及び染色体異常
032 その他の精神及び行動の障害	073 うち 蝕	X VIII 症状、徴候等他に分類されないもの
	074 肉肉炎及び潰瘍性疾患	114 症状、徴候等他に分類されないもの
	075 その他の潰瘍及び潰瘍の付随する疾患	X IX 損傷、中毒及びその他の外因的影響
033 パーキンソン病	076 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	115 骨折
034 アルツハイマー病	077 胃炎及び十二指腸炎	116 頸部内傷及び内臓の損傷
035 てんかん	078 アルコール性肝疾患	117 熱傷及び凍傷
036 急性疼痛及びその他の神経痛性疾患	079 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	118 中毒
037 自律神経系の障害	080 肝硬変(アルコール性のものを除く)	119 その他の損傷及びその他の外因的影響
038 その他の神経系の疾患	081 その他の肝疾患	
039 難聴	082 胆石症及び胆管炎	
040 白内障	083 膵炎	
	084 その他の消化器系の疾患	

病棟票(亜急性期病室用)

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病棟に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月〇日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」(ゼロ)をご記入下さい。

亜急性期病室を有する病棟名

■本調査票の一般病棟名・ご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成21年( )月( )日
ご記入担当者名	

■貴病棟の概要についてお伺いします。

問1 貴病棟で算定している診療報酬として該当するものを全てお選びください。

01 一般病棟 7対1入院基本料(準7対1)	
02 一般病棟 10対1入院基本料	
03 亜急性期入院医療管理料 1	
04 亜急性期入院医療管理料 2	

問2 亜急性期病室を持つ貴病棟の届出患者数について、平成20年6月時点及び平成21年6月時点の総数と内訳をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 病棟病床数 総数	床	床
(2) [再掲] 亜急性期入院医療管理料が算定可能な病床	床	床

問3 亜急性期病室を持つ貴病棟において、平成21年6月1日の時点で雇用している看護師、准看護師、看護補助者の人数をご記入ください。

	平成21年6月1日	
	常勤	非常勤(常勤換算 <sup>注1</sup> )
(1) 看護師	人	人
(2) 准看護師	人	人
(3) 看護補助者	人	人

注1 非常勤職員は常勤換算の算出方法  
貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小數第二位を四捨五入し、小數第一位までを記入。  
例: 1週間の通常勤務時間が40時間の病院で、週4日(全日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

非常勤看護師数 = 4日 × 5時間 × 1人 = 0.5人

問4 亜急性期病室における専任の在宅復帰支援担当者について、平成21年6月の担当者数、職種をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 専任の在宅復帰支援担当者数		人
(2) 専任の在宅復帰支援担当者の職種 (〇はいくつでも)		
01 医師	02 看護職員	03 看護補助者
04 ナurses	05 事務職員	06 その他

問5 亜急性期病室を有する貴病棟において、平成21年6月1日の時点で専任・専任している職種の職員数について、一週間当たりの勤務状況から算出した常勤換算後の人数をご記入ください。

		平成21年6月1日	平成21年6月1日
(1) 医師	(6) 診療放射線技師	人	人
(2) 薬剤師	(7) 臨床検査技師	人	人
(3) 理学療法士	(8) 臨床工学士	人	人
(4) 作業療法士	(9) ソーシャルワーカー	人	人
(5) 言語聴覚士	(10) 事務職員	人	人

注) 専任とは、貴病棟の業務のみに従事している者をいう。専任とは、貴病棟での業務とその他の部署等での業務を兼務している者をいう (例: 午前3時間は貴病棟の業務に従事するが、午後5時は薬剤師部門での業務に従事する者等を指す)。  
注) 専任・専任している職員の常勤換算の算出方法  
貴病棟の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。  
例: 1週間の通常勤務時間が40時間の病棟で、貴病棟に専任の薬剤師が1人、週4日 (各日1時間) 勤務の専任の薬剤師が1人いる場合  
専任薬剤師数 =  $\frac{5日 \times 8時間 \times 1人 + 4日 \times 1時間 \times 1人}{40時間} = 1.1人$

問6 亜急性期病室の入室患者について、平成20年6月及び平成21年6月の入室患者数、7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合等をご記入ください。

		平成20年6月	平成21年6月
(1) 入室患者数		人	人
別入 室原 由	(2) [再掲] 急性期治療を経過した患者	人	人
	(3) [再掲] 在宅・介護施設等からの患者であって重症の急性増悪した患者	人	人
	(4) [再掲] その他	人	人
	(5) 7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合等 <sup>注1)</sup>	%	%

注1) 「7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合」とは、「亜急性期入院医療管理届出病棟の入院患者数」に占める「7対1入院基本料、7対1入院基本料、10対1入院基本料を算定している病棟 (一般病棟入院基本料、特定機能病棟入院基本料及び専門病棟入院基本料に限る)、入院時医学管理加算、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイテクユニット入院医療管理料並びに脳卒中ケアユニット入院医療管理料のいずれかを算定している病棟から転床又は転院してきた患者」の割合を指す。

問7 亜急性期病室の退室患者について、平成20年6月及び平成21年6月の退室患者数、退院患者のうち他の医療機関へ転院した者等を除く者の割合をご記入ください。

		平成20年6月	平成21年6月
(1) 退室患者数 <sup>注1)</sup>		人	人
(2) 退院患者のうち、他の医療機関へ転院した者等を除く者の割合		%	%

注1) 退室患者数: 以下の「転院」、「退院」の両方の定義に該当する患者数の合計  
○転院: 亜急性期病室から当該病棟の一般病棟に移動した人数 ○転院: 別の医療機関に移動した人数  
○退室: 自宅又は介護施設ではない施設に移動した人数

問10 亜急性期病室の平均在院日数、病床利用率について、平成20年6月及び平成21年6月の数値をご記入ください。

		平成20年4~6月	平成21年4~6月
(1) 平均在院日数 (平成20年4~6月及び平成21年4~6月の3ヶ月の平均)		日	日
(2) 病床利用率 (平成20年4~6月及び平成21年4~6月の3ヶ月の平均)		%	%

最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。  
記入漏れがないかをご確認の上、〇月〇日(〇)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。

問8 亜急性期病室の入室患者数について、平成21年6月の入室前の居場所別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の7対1入院基本料等 <sup>注1)</sup> のいずれかを算定している病床		人
(2) 自院のその他の病床		人
(3) 他病院の7対1入院基本料等 <sup>注1)</sup> のいずれかを算定している病床	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(4) 他病院のその他の病床	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(5) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(6) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) その他居住系サービス <sup>注2)</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(8) 在宅		人
(9) その他		人

注1) 「7対1入院基本料等」とは、「7対1入院基本料、7対1入院基本料、10対1入院基本料を算定している病棟 (一般病棟入院基本料、特定機能病棟入院基本料及び専門病棟入院基本料に限る)、入院時医学管理加算、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイテクユニット入院医療管理料並びに脳卒中ケアユニット入院医療管理料のいずれかを算定している病棟」を指す。  
注2) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問9 亜急性期病室の退室患者数について、平成21年6月の退室先別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の回復期リハ病棟		人
(2) 自院の(1)以外の一般病棟		人
(3) 自院の(1)以外の療養病棟		人
(4) 自院の(1)~(3)以外の病棟		人
(5) 他病院	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(6) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(8) その他居住系サービス <sup>注1)</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(9) 在宅		人
(10) その他		人

注1) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

病棟患者票 (亜急性期病室用 (入院中))

診療報酬算定の結果検証に係る特別調査 (平成21年度調査)  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病棟に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査 (案)

亜急性期入院医療管理病室 現在入院中の患者用

- 本調査票の回答時に、上記の病室に入院中の患者全員について、下記設問についてご回答下さい。
- 本調査票は、質問票と回答用紙が分かれております。質問票をご覧になりながら、回答用紙の各患者欄に、当該患者の各設問における選択番号等をご記入下さい。

■ 質問票

A 患者の基本的事項

1	発症年月日	西暦 年 月 日
2	入院年月日	西暦 年 月 日
3	入室年月日	西暦 年 月 日
4	現在、診断されている主病名と副病名	別紙2「疾病コード表」より該当番号を選択 ①主病名(1つ) ②副病名(2つまで)
5	診療科 (1つ選択)	別紙1「診療科コード表」より該当番号を選択
6	性別	1 男性 2 女性 7 年齢 (回答時現在) 歳
8	①世帯構成	1 単独世帯 2 同居有り世帯
	②キーパーソン	1 有り 2 無し
9	③転院	1 有り (2子の場合は) 2 子 3 子の配偶者 4 父母または配偶者の父母 5 孫 6 祖父 7 兄弟姉妹 8 他の親族 9 その他
	入室期間中の算定状況	①地域連携診療計画管理料 1有 2無 ④退院調整加算 1有 2無
		②地域連携診療計画退院指導料 1有 2無 ⑤後期高齢者退院調整加算 1有 2無
10	院内クリニカルパスの使用状況	③看護患者管理加算 1有 2無
	1 有り → 2 無し	①バリアンスの状況 1 有り 2 無し
11	リハビリテーションの実施状況	①リハビリの種類 (複数選択可)
		②リハビリ開始日
		③リハビリ頻度
12	透析の実施状況	④透析開始日
		⑤透析の方法

B 現在の患者状況

1	入室中の モニタリング及び 処置等の状況	1) 創傷処置	1有 2無	17) 免疫抑制剤の使用	1有 2無
		2) 血圧測定5回以上	1有 2無	18) 昇圧剤の使用	1有 2無
		3) 時間尿測定	1有 2無	19) 抗不整脈剤の使用	1有 2無
		4) 人工呼吸器管理	1有 2無	20) ドレーナージの管理	1有 2無
		5) 酸素吸入	1有 2無	21) 24時間経皮点滅	1有 2無
		6) 気道内吸引	1有 2無	22) 抗生剤点滴療法	1有 2無
		7) 口腔内吸引	1有 2無	23) 脱水に対する治療	1有 2無
		8) 尿を出すための体位ドレーナージ	1有 2無	24) 発熱に対する治療	1有 2無
		9) ストウイング	1有 2無	25) せん妄に対する治療	1有 2無
		10) 点滴ライン同時3本以上	1有 2無	26) 肺炎に対する治療	1有 2無
		11) 心電図モニター	1有 2無	27) 尿路感染に対する治療	1有 2無
		12) シリンジポンプの使用	1有 2無	28) 経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養	1有 2無
		13) 輸血や血液製剤の使用	1有 2無	29) 血糖検査1日3回以上	1有 2無
		14) 抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無	30) ドレーン管又は胸腔・腹腔洗浄	1有 2無
		15) 麻薬注射薬の使用	1有 2無	31) 気管切開又は気管内挿管	1有 2無
		16) 放射線治療	1有 2無	32) 酸素療法	1有 2無
2	入室中の 患者の状況等	1) 寝返り	1 できる 2 何かにつかまればできる 3 できない		
		2) 起き上がり	1 できる 2 できない		
		3) 座位保持	1 できる 2 支えがあればできる 3 できない		
		4) 移乗	1 できる 2 見守り一部介助が必要 3 できない		
		5) 口腔清潔	1 できる 2 できない		
		6) 食事摂取	1 介助なし 2 一部介助 3 全介助		
		7) 衣服の着脱	1 介助なし 2 一部介助 3 全介助		

<別紙1>診療科コード表

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こう門科
03 消化器科(胃腸科)	12 外科	21 産科	30 ハレ・行方科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 皮膚科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児歯科
09 心臓内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

注) 01~36に定める診療科目以外を標榜している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。

<別紙2>疾病コード表  
(ICD-10 2003年版を準用)

I 感染症及び寄生虫症	041 骨折及び関節の障害	XII 皮膚及び皮下組織の疾患
001 腸管感染症	042 その他の骨折及び付随する疾患	085 皮膚及び皮下組織の感染症
002 結核	043 耳及び乳突炎の疾患	086 皮膚炎及び湿疹
003 主として性的伝播様式による感染症	044 外耳炎	087 その他の皮膚炎及び皮下組織の疾患
004 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	045 中耳炎	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患
006 ウイルス肝炎	046 その他の中耳炎及び乳突炎の疾患	088 炎症性多発性関節痛
007 その他のウイルス疾患	047 ミネラル骨	089 関節症
008 真菌症	048 その他の内耳疾患	090 骨質減少(骨密度を含む)
009 感染症及び寄生虫症の疑い・検出症	049 その他の耳疾患	091 頸椎症
010 その他の感染症及び寄生虫症	IX 循環器系の疾患	092 頸椎症様症
II 新生物	050 高血圧性疾患	093 腰痛症及び坐骨神経痛
010 胃の悪性新生物	051 虚血性心疾患	094 その他の骨性腫瘍
011 結腸の悪性新生物	052 その他の心疾患	095 真の悪性心臓病
012 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	053 その他の心疾患	096 骨の老化及び構造の障害
013 肝及び胆管の悪性新生物	054 脳内出血	097 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
014 気管・気管支及び肺の悪性新生物	055 脳梗塞	XIV 腎臓系疾患
015 乳癌の悪性新生物	056 脳動脈硬化(症)	098 末梢神経炎及び末梢神経病変性疾患
016 子宮の悪性新生物	057 その他の脳血管疾患	099 腎不全
017 悪性リンパ腫	058 動脈硬化(症)	100 尿結石症
018 白血病	059 痛風	101 その他の腎臓系疾患
019 その他の悪性新生物	060 低血圧(症)	102 顔位肥大(症)
020 良性新生物及びその他の新生物	061 その他の循環器系の疾患	103 その他の男性生殖系疾患
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	X 呼吸器系の疾患	104 月経異常及び閉経期前障害
021 貧血	062 急性呼吸器炎(かぜ)＜軽症＞	105 乳房及びその女性生殖系疾患
022 その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	063 急性咽喉炎及び急性扁桃炎	XV 妊娠、分娩及び産後
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	064 その他の急性上気道感染症	106 産後
023 甲状腺障害	065 肺炎	107 妊娠高血圧症候群
024 糖尿病	066 慢性気管支炎及び慢性肺気腫	108 単胎自然分娩
025 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	067 アレルギー性鼻炎	109 その他の妊娠、分娩及び産後
V 精神及び行動の障害	068 慢性副鼻腔炎	XVI 悪性疾患
026 血管性及び詳細不明の認知症	069 慢性気管支炎	110 妊娠及び分娩による関連する障害
027 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	070 慢性閉塞性肺疾患	111 その他の悪性疾患
028 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	071 喘息	XVII 先天畸形、変形及び染色体異常
029 気分(感情)障害(幅広い病を含む)	072 その他の呼吸器系の疾患	112 心臓の先天畸形
030 神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	XI 消化器系の疾患	113 その他の先天畸形、変形及び染色体異常
031 知的障害(精神遅滞)	073 胃 腫	XVIII 症状、徴候等(他に分類されないもの)
032 その他の精神及び行動の障害	074 歯肉炎及び歯周炎	114 症状、徴候等(他に分類されないもの)
VI 神経系の疾患	075 その他の歯肉炎及び歯周炎	XIX 腫瘍、中核及びその他の外因的影響
033 パーキンソン病	076 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	115 骨折
034 アルツハイマー病	077 胃及び十二指腸炎	116 頸椎内損傷及び内臓の損傷
035 てんかん	078 アルコール性肝疾患	117 脳脊液貯留
036 脳性麻痺及びその他の脳神経症候群	079 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	118 中 毒
037 自律神経系の障害	080 肝硬変(アルコール性のものを除く)	119 その他の腫瘍及びその他の外因的影響
038 その他の神経系の疾患	081 その他の肝疾患	
VII 眼及び付属器の疾患	082 眼石症及び目のうき	
039 結核炎	083 網膜症	
040 白内障	084 その他の消化器系の疾患	

病棟患者票(亜急性期病室用(退院))

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料  
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病棟に係る調査、  
及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査(案)

亜急性期入院医療管理病室 退院(室)患者用

○ 上記の病室を平成21年6月に退室された患者全員について、下記設問についてご回答下さい。  
○ 本調査票は、質問票と回答用紙が分かれております。質問票をご覧になりながら、回答用紙の各患者欄に、当該患者の各設問における選択番号等をご記入下さい。

■ 質問票

A 患者の基本的事項

1	発症年月日	西暦 年 月 日
2	入院年月日	西暦 年 月 日
3	入室年月日	西暦 年 月 日
4	入室期間中に 診断された 主病名と副病名	別紙2「疾病コード表」より該当番号を選択 ①主病名(1つ) _____ ②副病名(2つまで) _____
5	診療科(1つ選択)	別紙1「診療科コード表」より該当番号を選択
6	性別	1 男性 2 女性 7 年齢 (6月1日現在) 歳
8	①世帯構成	1 単独世帯 2 同居有り世帯
	②キーパーソン	1 有り 2 無し
8	③就労	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母または配偶者の父母 5 兄弟姉妹 6 孫 7 その他の親族 8 子の配偶者 9 その他
	④同居患者管理加算	1 有 2 無
9	入室期間中の 算定状況	①地域連携診療計画管理料 1有 2無 ②入院調整加算 1有 2無 ③地域連携診療計画退院時指導料 1有 2無 ④後期高齢者退院調整加算 1有 2無 ⑤同居患者管理加算 1有 2無
	院内クリティカルパス の使用状況	1 有り 2 無し
11	リハビリテーション の実施状況	①リハビリの種類(複数選択可) 1 心大血管疾患 2 脳血管疾患 3 運動器 4 呼吸器 5 摂食機能療法 6 集団心理療法 ②リハビリ開始日 西暦 年 月 日 ③リハビリ頻度 週 単位
	2 無し	
12	退院の実施状況	①退院開始日 西暦 年 月 日 ②退院の方法 1 血液透析 2 経膜透析
	2 無し	

B 入室時の患者状況

1	入室前の居場所 (1つ選択)	1 在宅	9 06~08以外の他院の他の病床		
		2 自院の回復期リハビリ病棟	10 介護老人保健施設(老人保健施設)		
2	入室した背景 (複数選択可)	3 02以外の自院の一般病床	11 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		
		4 02以外の自院の療養病床	12 グループホーム		
		5 02~04以外の自院の他の病床	13 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス)		
		6 他院の回復期リハビリ病棟	14 高齢者専用賃貸住宅		
		7 06以外の他院の一般病床	15 障害者支援施設		
		8 06以外の他院の療養病床	16 その他		
		3	入室中の 患者の状況等	①中心静脈栄養 1有 2無	⑩インスリン皮下注射 1有 2無
				②経管栄養(経鼻・胃ろう) 1有 2無	⑪体位ドレーナージ 1有 2無
③創傷処置 1有 2無	⑫輸血・血液製剤 1有 2無				
④輸送ポンプ・シリンジポンプの使用 1有 2無	⑬放射線治療 1有 2無				
⑤胃ろう・胃ろう等の処置 1有 2無	⑭麻薬の使用 1有 2無				
⑥ドレーン管・胸腔洗浄 1有 2無	⑮内視鏡検査・内視鏡的処置 1有 2無				
⑦気管切開 1有 2無	⑯全身麻酔を伴う処置 1有 2無				
⑧人工呼吸器の装着 1有 2無	⑰床上安静の指示 1有 2無				

C 退室時の患者状況

1	退室年月日	西暦 2009年 6月 日	
2	退院支援計画書	①作成日 西暦 年 月 日	
		②作成者 1 医師 2 看護師 3 在宅支援を担当する者 4 その他	
3	退室先 (1つ選択)	1 在宅	9 06~08以外の他院の他の病床
		2 自院の回復期リハビリ病棟	10 介護老人保健施設(老人保健施設)
4	転 帰	3 02以外の自院の一般病床	11 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
		4 02以外の自院の療養病床	12 グループホーム・有料老人ホーム
		5 02~04以外の自院の他の病床	13 高齢者専用賃貸住宅
		6 他院の回復期リハビリ病棟	14 障害者支援施設
		7 06以外の他院の一般病床	15 死亡
		8 06以外の他院の療養病床	16 その他
5	日常生活機能評価 (採集されている項目 に点を記入)	①床上安静の指示 点	⑩口腔清潔 点
		②どしどし排便をコントロールする 点	⑪食事摂取 点
		③寝 返 り 点	⑫衣服の着脱 点
		④起き上がり 点	⑬他者への意思の伝達 点
		⑤座位保持 点	⑭診療・作業上の指示が通じる 点
		⑥移 乗 点	⑮危険行動 点
		⑦移動方法 点	

6	バーゼル指数 (把握されている項目に点数を記入)	①食事	点	④平地歩行	点
		②移乗	点	⑤階段昇降	点
		③脱着	点	⑥更衣	点
		④トイレ動作	点	⑦排便コントロール	点
		⑤入浴	点	⑧排便コントロール	点
7	退室までの経緯 (1つ選択)	1 診療計画書にある推定入院期間より早く退室			
		2 診療計画書にある推定入院期間どおりの退室			
		3 病状が安定せず、退室が延びた			
		4 入所・転院する施設が都合で、退室が延びた			
		5 退室先である在宅で、家族等の受け入れ体制が整わず、退室が延びた			
		6 退室先である在宅での介護保険サービスの利用開始待たのための、退室が延びた			
		7 その他 (自由記入欄)			

＜別紙1＞診療科コード表

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こう門科
03 消化器科(胃腸科)	12 外科	21 産科	30 パレ・リ・ソノ科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児歯科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

注) 01～36に定める診療科目以外を横括弧している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。

＜別紙2＞疾病コード表  
(ICD-10 2003年版を準用)

I 感染症及び寄生虫病	041 悪性びり菌の感染症	XII 皮膚及び皮下組織の疾患
001 細菌感染症	042 その他の細菌及び真菌の疾患	085 皮膚及び皮下組織の感染症
002 結核	VIII 耳及び乳突部の疾患	086 皮膚炎及び腫瘍
003 主に性的伝播病をとりとする感染症	043 外耳炎	087 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
004 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	044 その他の外耳疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患
005 ウイルス肝炎	045 中耳炎	088 炎症性多発性関節炎
006 その他のウイルス疾患	046 その他の中耳及び乳突部の疾患	089 関節炎
007 真菌症	047 メニエール病	090 骨質障害(骨性を含む)
008 感染症及び寄生虫病の疑念・疑念症	048 その他の内耳疾患	091 骨質障害
009 その他の感染症及び寄生虫病	049 その他の疾患	092 関節炎
II 新生物	IX 循環器系の疾患	093 疼痛及び生体神経痛
010 胃の悪性新生物	050 高血圧性疾患	094 その他の骨質障害
011 結腸の悪性新生物	051 虚血性心疾患	095 真の狭窄く狭窄>
012 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	052 その他の心疾患	096 骨の密度及び構造の障害
013 肝及び胆管の悪性新生物	053 くも膜下出血	097 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
014 気管、気管支及び肺の悪性新生物	054 脳内出血	XIV 腎臓系疾患
015 乳癌の悪性新生物	055 脳梗塞	098 糸球体疾患及び腎臓間質性疾患
016 子宮の悪性新生物	056 脳動脈硬化(症)	099 腎不全
017 悪性リンパ腫	057 その他の脳血管疾患	100 尿結石症
018 白血病	058 動脈硬化(症)	101 その他の腎臓系疾患
019 その他の悪性新生物	059 痔瘻	102 閉塞性腎臓(症)
020 良性新生物及びその他の新生物	060 低血圧(症)	103 その他の男性生殖器疾患
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	061 その他の循環器系の疾患	104 月経障害及び閉経期前症候群
021 貧血	X 呼吸器系の疾患	105 乳房及びその女性の生殖器疾患
022 その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	062 急性鼻咽炎【カゼ】<感冒>	XV 妊娠、分娩及び産後
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	063 急性咽喉炎及び急性扁桃炎	106 流産
023 甲状腺障害	064 その他の急性上気道感染症	107 妊娠高血圧症候群
024 糖尿病	065 肺炎	108 早産自然分娩
025 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	066 急性気管支炎及び急性細気管支炎	109 その他の妊娠、分娩及び産後
V 精神及び行動の障害	067 アレルギー性鼻炎	XVI 妊娠中に発生した疾患
026 気分性及び情緒不明の認知症	068 慢性副鼻腔炎	110 妊娠及び産後に関連する障害
027 精神作用薬使用による精神及び行動の障害	069 急性又は慢性と明示されない気管支炎	111 その他の産産期に発生した疾患
028 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	070 慢性細菌性肺炎	XVII 先天畸形、変形及び染色体異常
029 気分【感情】障害(うつ病を含む)	071 喉炎	112 心臓の先天畸形
030 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	072 その他の呼吸器系の疾患	113 その他の先天畸形、変形及び染色体異常
031 加齢障害(精神遅滞)	XI 消化器系の疾患	XVIII 症状、徴候等では分類されないもの
032 その他の精神及び行動の障害	073 う蝕	XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響
VI 神経系の疾患	074 歯肉炎及び歯周炎	115 骨折
033 パーキンソン病	075 その他の歯及び歯の支持組織の障害	116 頰窩内損傷及び内臓の損傷
034 アルツハイマー病	076 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	117 熱傷及び感電
035 てんかん	077 胃炎及び十二指腸炎	118 中毒
036 脳性麻痺及びその他の麻痺性産後群	078 アルコール性肝疾患	119 その他の損傷及びその他の外因の影響
037 自律神経系の障害	079 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	
038 その他の神経系の疾患	080 肝硬変(アルコール性のものを除く)	
VII 眼及び付属器の疾患	081 その他の肝疾患	
039 結核炎	082 胆石症及び胆のう炎	
040 白内障	083 再発症	
	084 その他の消化器系の疾患	

診療所票

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料  
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、  
及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査(案)

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する質問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」(ゼロ)をご記入下さい。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成21年( )月( )日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

■貴院の概要についてお伺いします。

問1 貴院の開設者として該当するものをお選びください。(〇は1つ)	
01 公的医療機関(都道府県、市町村、一部事務組合、市、衛生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)	
02 医療法人	
03 個人	
04 その他(上記以外)	

問2 貴院の診療科目について該当するものを全てお選びください。01～36に定める診療科目以外を横括弧している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。(〇はいくつでも)  
なお、複数の科目を選ばれた場合は、主たる診療科目の番号をご記入ください。

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こう門科
03 消化器科(胃腸科)	12 外科	21 産科	30 パレ・リ・ソノ科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児歯科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

(複数の診療科目を選ばれたのみ) 主たる診療科目の番号をご記入ください。 —

問3 貴院に所属している平成21年6月時点の医師数を記入ください。(〇は1つ)	
(1) 医師数	人

問4 貴院における平成21年6月時点の病床数及び平均在院日数についてご記入下さい。		
(1) 総病床数	平成21年	床
(2) [再掲] 一般病床数		床
(3) [再掲] 療養病床数		床
(4) [再掲] 診療所後期高齢者医療管理料算定病床数		床
(5) 平均在院日数(平成20年4～6月及び平成21年4～6月の3ヶ月の平均)	平成20年	平成21年
	日	日

問5 貴院の届出の状況について該当するものを全てお選びください。(〇はいくつでも)		
届出の状況(〇はいくつでも)	01 地域連携診療計画送付時指導科	04 後期高齢者退院調整加算
	02 在宅療養支援診療所	05 診療所後期高齢者医療管理料
	03 退院調整加算	

問6 貴院が地域連携診療計画送付時指導料を算定されている場合は、連携医療機関数と当該医療機関とのカンファレンスの頻度、算定患者数について平成20年度の状況をご記入下さい。なお、カンファレンスの頻度については1ヶ月平均回数をご記入下さい。

(1) 大健常頭部骨折	①連携医療機関数	平成20年度	
	②連携医療機関とのカンファレンス(情報交換の機会)頻度	回/月	
(2) 脳卒中	③算定患者数	人	
	①連携医療機関数	施設	
	②連携医療機関とのカンファレンス(情報交換の機会)頻度	回/月	
	③算定患者数	人	

問7 貴院において、平成21年4月～6月の3ヶ月に紹介・逆紹介の実績がある保険医療機関数を記入下さい。	
(1) 病院	平成21年4～6月
(2) [再掲] 三次救急病院、二次救急病院	施設
(3) [再掲] 亜急性期病室を有する病院	施設
(4) [再掲] 回復期リハビリテーション病室を有する病院	施設
(5) [再掲] 療養病床を有する病院	施設
(6) 一般診療所	施設